

事業概要	長野県の持続可能な発展に向け、生活クラブ生活協同組合と提携する生産者の連携により、地域資源の活用を進め、食料、エネルギー、福祉の自給圏づくりを中心としてローカルSDGsの推進を図る	
部署	生活クラブ生活協同組合(長野) 本部センター 政策部	
所在地	〒394-0002 長野県岡谷市赤羽2-3-47	
連絡先	(電話番号)0266-24-0222	
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>長野県は農畜産物の生産やそれらを原料とした食品加工が盛んな地域です。農畜産業や食品加工事業が気候危機の深刻化や従事者の高齢化により持続的な事業の困難性が増えています。耕畜連携による自給飼料の拡大を通じた畜産物の安定生産や耕地面積の維持をはかります。また、移住定住の促進を図り、地域における担い手の創出、新たな事業及び雇用の創出を図ります。</p> <p>次世代に繋がる取り組みを地域内の関係者が広く繋がり、持続可能な社会の構築を目指します。</p>	
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	脱炭素／農林水産業・地場産品／健康・福祉
	URL	<ul style="list-style-type: none"> 地域内連携による自給飼料(飼料用米の作付け拡大、飼料用米のタンパク値向上による輸入大豆カス依存の軽減、副産物の活用)の生産と給餌拡大 加工食品原料の生産と活用 太陽光発電と売電益の活用による地域振興 行政と連携した移住定住、福祉事業の推進 <p>生活クラブ連合会—「ぐるっと長野地域協議会」が発足! (2010/5/27) https://seikatsuclub.coop/news/detail.html?NTC=0000008469 生活クラブ連合会— 地域内自給のデッサンをかたちに—「ぐるっと長野地域協議会」(2011/11/4) https://seikatsuclub.coop/news/detail.html?NTC=0000014547 生活クラブ連合会— 資源循環と自給力向上をめざす「ぐるっと長野フェア」初開催! (2018/11/22) https://seikatsuclub.coop/news/detail.html?NTC=0000052873 一般社団法人市民セクター政策機構— 協議会③ぐるっと長野地域協議会—域内の連携で持続可能な社会を目指す (2022/4) http://cpri.jp/5376/</p>
上記ソリューションを提供できる地域について	長野県	

自者の特徴	<ul style="list-style-type: none">生活クラブと長野県内の生産者は産直事業を展開し、米、牛乳・乳製品、園芸品、そば、お茶、ジュース類など多様な食品、また、木質製品や漆器の提携を展開してきました。さらに地域JAとの連携で、タンパク値を高めた飼料用米の生産にもチャレンジしています。塩尻市との連携で新たに移住定住に向け交流促進事業に取り組んでいます。生活クラブと提携する生産者や地域の伝統工芸体験などの企画を実施し、他地域の市民との交流を進めています。地域の伝統的な食品の持続的生産に向けた生産者連携や、地域資源を活用した食品開発など、さらに生産者間の連携で事業創出、雇用創出、再生エネルギーの拡大、自給力向上に取り組んでいきます。
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	<ul style="list-style-type: none">事業者の高齢化や従業員不足、原料資材の高騰により持続的な生産が難しくなっている。主たる生産物である水稻の価格低迷、畜産物の飼料高騰や疾病、気候危機の深刻化により生産が不安定になっている。

生活クラブと提携生産者で地域の持続可能性を高める

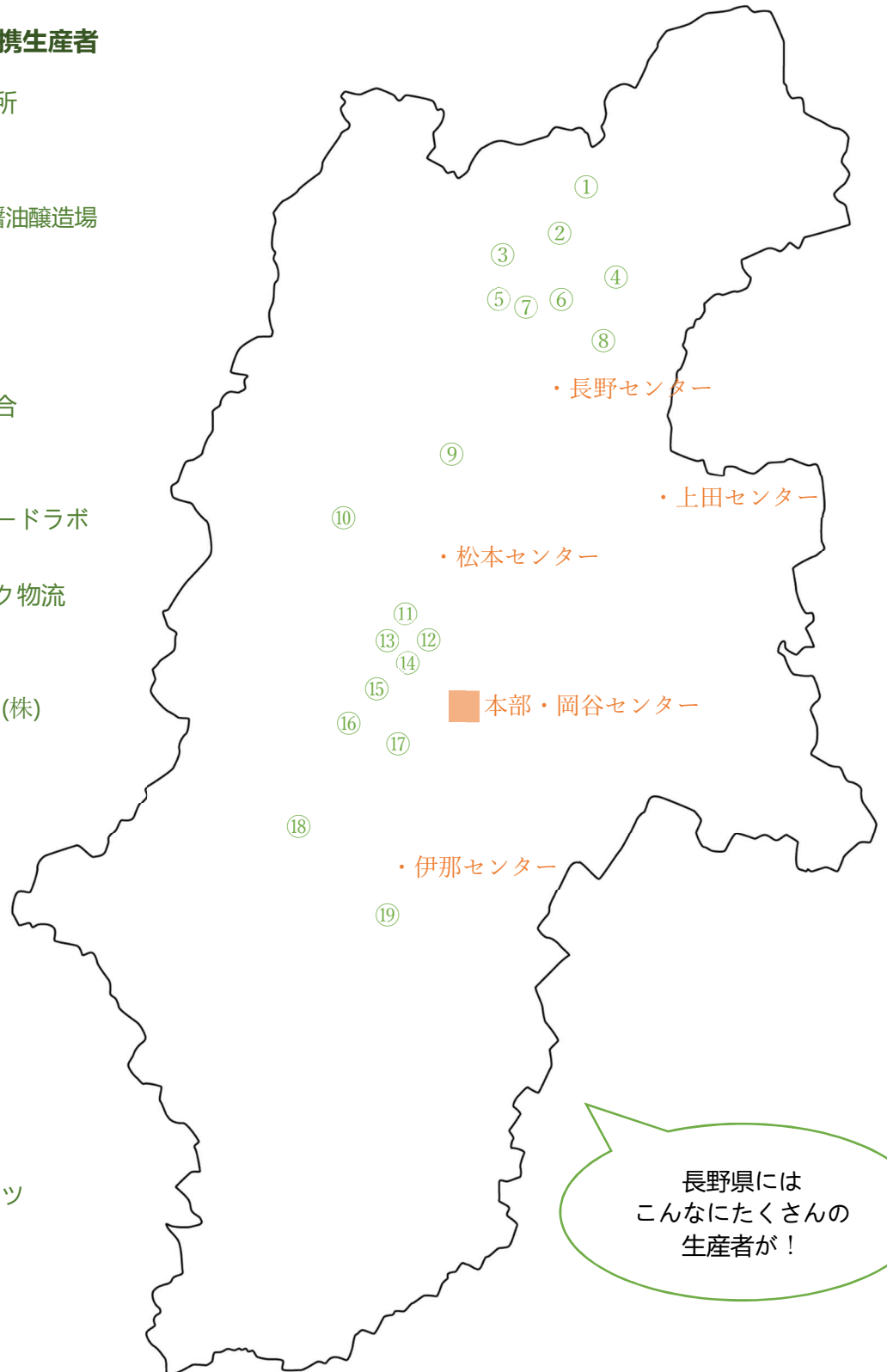
ぐるっと長野地域協議会

長野県内の生活クラブ提携生産者

- ① (株)黒姫和漢薬研究所
- ② (株)おびなた
- ③ (株)鬼無里の杜
- ④ (株)マルモ青木味噌醤油醸造場
- ⑤ 長野興農(株)
- ⑥ (有)村田商店
- ⑦ JA ながの
- ⑧ (株)キタコー
- ⑨ (農)会田共同養鶏組合
- ⑩ 新生酪農(株)
- ⑪ 美勢商事(株)
- ⑫ 中信興業(株)美勢フードラボ
- ⑬ (株)信生
- ⑭ (株)太陽ネットワーク物流
- ⑮ 笑亀酒造(株)
- ⑯ (株)アルプス
- ⑰ 信州エコプロダクツ(株)
- ⑱ 酒井産業(株)
- ⑲ JA 上伊那

県外の協議会メンバー

- 生活クラブ連合会
- 生活クラブ神奈川
- 生活クラブスピリッツ



長野県には
こんなにたくさんの
生産者が!

ぐるっと長野の成り立ち

危機的な自給力の低さ

日本の食料自給率は先進国中で最も低く、カロリーベースで37%（2020年度）まで落ち込みました。とりわけ農業、漁業、林業の生産基盤は崩壊の危機にさらされているといっても過言ではありません。新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻といった国際的な危機が起こるたびに、いとも簡単に食料危機にさらされる国であることが実感されます。

消費材を作り続けるために産地を元気に

ぐるっと長野は2010年に生活クラブ連合会、生活クラブ長野、長野県内の提携生産者が集まり、それまでの「消費材の提携関係」にとどまらず「複合的な連携関係」を構築し、域内の自給力の向上をめざすことを目的に発足しました。長野県内には数多くの農畜産業、加工業の生活クラブ提携生産者に加え、それを利用するおおぜいの生活クラブ組合員が存在しています。生産、製造、消費の力を束ね、さらには行政など地域の多様なステークホルダーと連携し、食に留まらず福祉やエネルギーまでも域内で自給できるモデルづくりをめざしています。設立当初の生産者数は13社でしたが、現在は物流業も含めて19社に広がりました。

協議会代表メッセージ

長野県内で原料や資源の循環を進めることで、自給力の向上や持続可能な生産のモデルをつくろうとして始まったのが「ぐるっと長野地域協議会」です。生活クラブ長野や生活クラブ連合会、長野にある提携生産者のネットワークで2011年から活動をはじめ、色々な成果を生み出しました。

たとえば私の会社では、生産する消費材の味噌は、原料米にJA上伊那やJAながのの加工用米を供給してもらうようになりました。また卵の生産者である会田共同養鶏組合は、JA上伊那から飼料用米の供給を受ける一方、鶏糞たい肥をJA上伊那に供給するなど地域内での資源循環が進みました。

生活クラブの組合員もトマトジュースの原料となる加工用トマトの計画的労働に毎年参加するなど、消費者が生産活動に参加して自給力の向上に関わっています。

さらに食料生産分野だけではなく、フードバンクの枠組みをつくって福祉事業に取り組む生活クラブの運動グループ（ケアサポートネットワーク長野）に食品を提供する福祉の取り組みや、生産残渣を活用したバイオマス発電やソーラー発電も生活クラブと連携して取り組むようになりました。

また、このたび協議会の一員である長野森林組合鬼無里事業所が閉鎖される危機にあたり、大事な消費材と地域の雇用を守るために生産者と生活クラブが協力して新会社を立ち上げた事も強い連帯を表すものでしょう。

一般的には関係性を持たない異業種の生産者、そして消費者団体である生活クラブが一体となって域内自給力の向上をめざすというのは非常に稀有な存在であり、将来に向けた新しいモデルになるものだと思います。

今後も組合員の皆さんとともに、ぐるっと長野の発展をめざしていきたいと考えています。



青木 幸彦

ぐるっと長野
地域協議会代表

(株)マルモ 青木味噌
醤油醸造場
代表取締役社長



域内連携で広がる自給の取り組み成果

計画的労働参加



JA ながのとの連携で行っている加工用トマトの計画的労働参加。夏場に集中するトマト収穫労働に消費者が参加し、高齢化する農業の継続性を支えています。

エネルギー自給



製造残渣を活用したバイオマス発電や生産者と生活クラブの出資による営農ソーラー発電など、地域内の再生可能エネルギー電源開発を進め、エネルギー自給に取り組んでいます。

ぐるっと長野フードバンク



生産工程で発生した食品ロスを生産者が生活クラブに提供、生活クラブが中間物流を担い地域福祉に取り組む団体に寄贈しています。

リフレッシュツアー



福島第一原発事故の影響から子どもとその家族を守るために生活クラブ長野と連携してリフレッシュツアーを開催しています。

包括連携協定（塩尻市）



生活クラブの防災飲料水の提携をきっかけに、塩尻市、生活クラブ長野、生活クラブ連合会の3者で包括連携協定を締結しました。まちづくり、福祉、防災など多様な分野で協力関係を築き、持続可能な地域づくりをめざしています。

鬼無里の杜（新会社）の設立



生活クラブとの長い提携関係にある長野森林組合鬼無里事業所の食品加工部門が閉鎖される危機にあたり、大事な消費材と地域の雇用を守るために、協議会生産者と生活クラブが出資者となり新会社を設立しました。

